

第10回代表世話人会 (10/7) 報告

情勢懇談から

(1) 県内でも進む市民と野党の共闘

名古屋市外でも前進。13区(刈谷・安城・碧南・知立など)でも安城地区労、刈谷・碧南・安城(準)革新懇、新社会党などで市民アクションづくりが進行中。いま呼びかけ人を募っている。4区では4つの政党(パネラー)、2つの政党の参加で、前衆議院選のもつれを率直に出し合い改めて統一の方向をめざす討論会が行われた。13項目以外に4区にふさわしい政策をつくる(名古屋港の非軍事化)ことも。

中央では連合政権をめざし、れいわ新選組・社民党と共産党が懇談、連合の神津会長はツイッターでめざすべきは北欧式社会福祉国家だとし、安倍一強に対抗するには野党の結集が必要だと伝えられている。

(2) 消費税値上げへの対応

10月に向けて実質上の価格の値上げ(量の減少)が行われ、10月に入って便乗値上げも。台風被害者が復興に向けて動くも10%の税率がもろにかぶってくる。公明党の提案で実施された軽減税率で消費税の真実が見えにくくされている。「とりあえず5%に戻せ」——この30年間で消費税のはたした役割(貧しい人、生活必需品にも同一の課税など)を総括したい。

(3) 核兵器禁止が国連の場で論議、安全への新しい発想が求められる

来年、ニューヨークで原水爆禁止世界大会が実施される。国連の場で非核保有国が国際世論を強める。いま地球温暖化(気候変動)により超大型の台風がかつてない水害をもたらしている。対米従属、巨大な軍事力で安全を守ることより、いま目の前で進行している環境問題、治山・治水に全力をかけるべし。

今後の取り組み

(1) 市民と野党の共闘——◎市民アクション@3区主催、新潟参院選勝利に学ぶ会・山中均さん(緑の党)(10/18)◎立憲野党とつなぐ会@あいちの懇談も。

(2) あいちトリエンナーレ・表現の自由を守る運動——今後も文化庁補助金不交付、河村名古屋市長歴史修正主義への批判を行う◎表現の自由を考える市民の集い(10/26、鶴舞・大竹書房ホール)

(3) 全国革新懇交流集会(10/19~20、神戸)へ37名参加。

◎11.19集会・デモ(久屋市民広場)

◎革新・愛知の会第40回総会

12月7日(土)13時~

労働会館東館2階ホール

次回代表世話人会

11月20日(水)14時~

3区

連合政権めざして
「市民と野党の
“本気”の共闘」へ

各市区民アクションの動きを
ご紹介します。

10月12日(金)愛知3区市民アクションは、イーブルなごやで「参院選新潟選挙区・山中均選対事務局次長に聞く——市民と野党の『本気の共闘』」

を開催しました。講師の山中均さんは新潟市議で緑の党新潟代表。2016年参院選、県知事選から始まる新潟での「市民と野党の共闘」がどのように発展してきたのか、選挙毎に丁寧にお話してくださいました。参議院選挙では新人だった打越さくらさんを野党統一候補として押し上げ勝利を勝ち取りましたが、そこに至る過程もこれまでの選挙での積み重ね「経験と信頼」があったから。

単なる「選挙協力」ではなく、それぞれ政党や市民運動の持ち味を生かしたたたかい方がノウハウとして蓄積されていること、人間的な友情も含め信頼関係が深まってきたことが重要と言われました。相手陣営と比較して「スーツの選挙(与党側候補)と、普段着の選挙(野党共闘候補)」を地元紙に紹介される程、選挙戦の様子がガラリと変わり、市民からの期待も変わっていった、と話されました。参加者は50名余。

4区

10月14日(日)愛知4区「野党は共闘!市民アクション」「市民と野党をつなぐ会」は、金山市会館で討論会を開催。立民・高木ひろし県連副代表、国民・牧義夫衆議院議員、共産・山口政信地区委員長、社民山登志浩県連代表、新社会党・保田泉県委員長、緑の党東海・尾形慶子代表の6党が勢ぞろい。61名が参加しました。討論は、2年前事実上の統一候補に決まってい

た牧さんが土壇場で「希望の党」へ行き、我々の説得にも応じなかったことで4区内には牧さんへの不信感がある。会場からの質問や意見はやはり牧さんに厳しかった。その上で、4区として「13項目の参議院選挙の政策」をより豊かにしていく。参加政党の合同街宣を行っていく。解決しなければならぬ問題は、引き続き討論会で深めていくなどが話しあわれました。(瑞穂区革新懇ニュース10月号より抜粋)

市民と野党をつなぐ会@あいちが共産党と懇談

10月24日、共産党愛知県委員会事務所で「市民と野党をつなぐ会@あいち」が懇談を行いました。石山淳一県書記長が愛知県下での市民と野党の共闘の現状と野党連合政権をつくるために市民のみなさんから積極的にお話を聞かせてほしいと述べ、参加した各区から意見が出され、懇談しました。

私たちが安倍政治を終らせる 野党連合政権をめざして 「市民と野党の共闘」の一層の発展を

地域・職場・青年革新懇全国交流会in兵庫



全国革新懇交流会 1 日目全体会会場 神戸文化ホールにて 愛知の参加者

10月19～20日に開催された全国革新懇交流会 in 兵庫には、全国から1800人超が参加。愛知の革新懇からは15地域革新懇・3職場革新懇・5賛同団体、青年ネットAICHIから37名が参加しました。一日目は全体会で、団体・政党の代表から挨拶があり、全国各地の取り組みが発言されました。二日目は、地域分散会（8会場）と4つの分科会が開かれました。それぞれの参加者の感想をご紹介します。

ジェンダー平等分科会

ジェンダー問題解決のためにも安倍政権の退陣を



南区革新の会 代表世話人 高橋祐介

今回の全国交流会では初めて、ジェンダー平等を考える分科会が開催されました。

三成美保教授（奈良女

子大学）の講演で、ジェンダー平等が国際的課題となっていて、日本では停滞していること、その背景には今の自民党政権がジェンダー平等の実現に消極的かつ、男女格差を容認する姿勢であることが大きな要因だということが語られました。

私はこの分科会に参加して、ある一つの事件を思い出しました。それは東京の七尾養護学校（2003年当時）で行われていた性教育を、都議会議員が過激・破廉恥だなどと言ってやめさせた教育介入事件です。この事件の後、安倍首相（当時は幹事長代理）を座長に「過激な性教育・ジェンダーフリー教育実態調査PT」が発足したということが、今日のジェンダー平等停滞につながっていることに改めて気付かされました。

そしてジェンダー問題解決のためにも安倍政権を退陣させる必要性を改

めて強く感じるものとなりました。

青年交流会

若者との対話をていねいに、連帯して現状を変えていこう



青年ネットAICHI 共同代表 川村ミチル

基調報告はウチの本棚にも並ぶ『マルクスのかじり方』著者、神戸女学院大学教授の石川康宏先生。参院選の18、19歳の投票率が31・33%であつたが、憲法を学んだ学生は実に60%の投票率を超えたという。

学べば変わるのだ。国

際比較から見ると日本社会のおかしさがわかる。先進国の中で飛び抜けて自殺者が多いのは日本。デンマークの事例を挙げ比較するとなんとお粗末な国なんだろう。国連の幸福度ランキングで見ても日本は先進国ではないのだ。

野党連合政権の13項目の合意事項は、目指す社会は難しくない。

その実現のために、主体的に考える有権者を育てること。私たちも周りの若者との対話をていねいにすることで連帯し現状は変えていけるのだ。

大変、理論的で希望の持てる話であつた。議論の時間がなく各地の報告と簡単な質疑で終わり、深める時間を持てなかったことが残念だつた。

今後も多く青年に参加してもらい、全国で活動する仲間と共に、勇気と希望を土産に持つて帰ってもらいたいと強く思った。